

## 2025年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	〔国語〕【論理国語】	2年	2単位	教科書	標準論理国語（第一学習者）	副教材等	常用漢字ダブルクリア （尚文出版）	履修対象・ 使用教室 等	2年アクティブコース 普通教室
教科・科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。			「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。		
評価方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価資料・評価比重 〔100点換算〕	評価資料等		予定回数・内容等				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	単元テスト・課題		単元ごと				40	60	25
	提出物		おおむね授業ごと				60	40	25
	ふりかえり		授業ごと						50
	〔観点別配分％〕		（3観点の比重を％で示しています）						
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	配当時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など				主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕 知・技 思・判・表 態度
4 5	情けは人の…… 犬も歩けば糞に当たる 資料を集めて情報を整理する	10	・本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・関連するテーマの文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。				単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎  	◎ ○ ◎
6 7	進化が導き出した答え 新しい地球観 構成を考えてレポートを書く	12	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・個別の事例と筆者の主張との関係を理解する。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。				単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎  	◎ ○ ◎
8 9	共同性の幻想 鏡としての他者 課題の文章を読んで情報を整理する	13	・文章構造をもとに筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考える。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する ・文章の内容を基に、自分の考えを発表する。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。				単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎  	◎ ○ ◎
10 11	ヒトはなぜヒトになったか バラと通貨はどう違う？	10	・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、理解する。				単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎  	◎ ○ ◎
12 1	数え方で磨く日本語 名所絵はがきの東西	10	・具体例をもとに日本語のものの数え方の性質や文化的特徴を理解し、日本語感覚を磨く。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。				単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎  	◎ ○ ◎
2 3	経験の教えについて SNSと意見の分極化 コミュニケーションの文化	15	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・述べた文章の内容を基に、自分の考えを発表する。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。				単元テスト・課題 提出物 ふりかえり	○ ◎  	◎ ○ ◎
学習のアドバイス	・単元ごとにテスト、あるいは課題を出します。それと日々の授業の取組をもって評価します。授業の時間を大切にしてください。 ・ふりかえりの記述は根気をもって取り組んでください。その日学んだことや感じたことを言葉にすることは大切なことです。習慣化しましょう。								